



国内資源循環による 国産SAF供給を目指して

Enhancing planetary health

日揮ホールディングス株式会社

2023年2月10日

当社を含むコンソーシアムによる廃食用油を原料とするSAF製造事業

原料は100%
国産廃食用油

収集



コスモ石油大阪
堺製油所構内に
装置を新設

製造



2025年(大阪・関西万博
開催年)に供給開始予定

輸送



SAF年産約3万KLを
製造予定
国内初となる大規模生産

利用



事業
主体

JGC 日揮ホールディングス

 コスモ石油
COSMO

 SINCE 1995
REVO
INTERNATIONAL
レボインターナショナル

※2021年、NEDOの助成事業に「国産廃食用油を原料とするSAF製造サプライチェーンモデルの構築」事業として採択

新会社SAFFAIRE SKY ENERGY（サファイアスカイエナジー）の設立

- 国内初の国産SAF大規模生産を行う新会社を設立
- 国産SAF製造はいよいよ実行フェーズへ

SAFFAIRE SKY ENERGY会社概要

出資比率	日揮HD 48%、コスモ石油 48% レボインターナショナル 4%
本社所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1
設立日	2022年11月1日
装置建設地	大阪府堺市（コスモ石油堺製油所構内）
代表者	秋鹿 正敬（日揮HD 常務執行役員）
最高執行責任者	西村 勇毅（日揮HD）
COO	山本 哲（コスモ石油）
事業内容	国産廃食用油を原料とするSAF、 バイオナフサ、バイオディーゼルの製造



SAF製造装置建設地

ACT FOR SKYの設立（SAF導入・普及のための有志団体）



- 昨年3月、国産SAF導入・普及を目的とするオールジャパン体制の有志団体を設立
- 国が目指す2030年SAF供給10%目標に向けた取り組みを加速

加盟企業（全24社、代表幹事日揮HD）

2022年11月現在



設立会見（2022年3月2日）

左から日揮HD会長佐藤、レボ越川社長
ANA平子社長、JAL赤坂社長

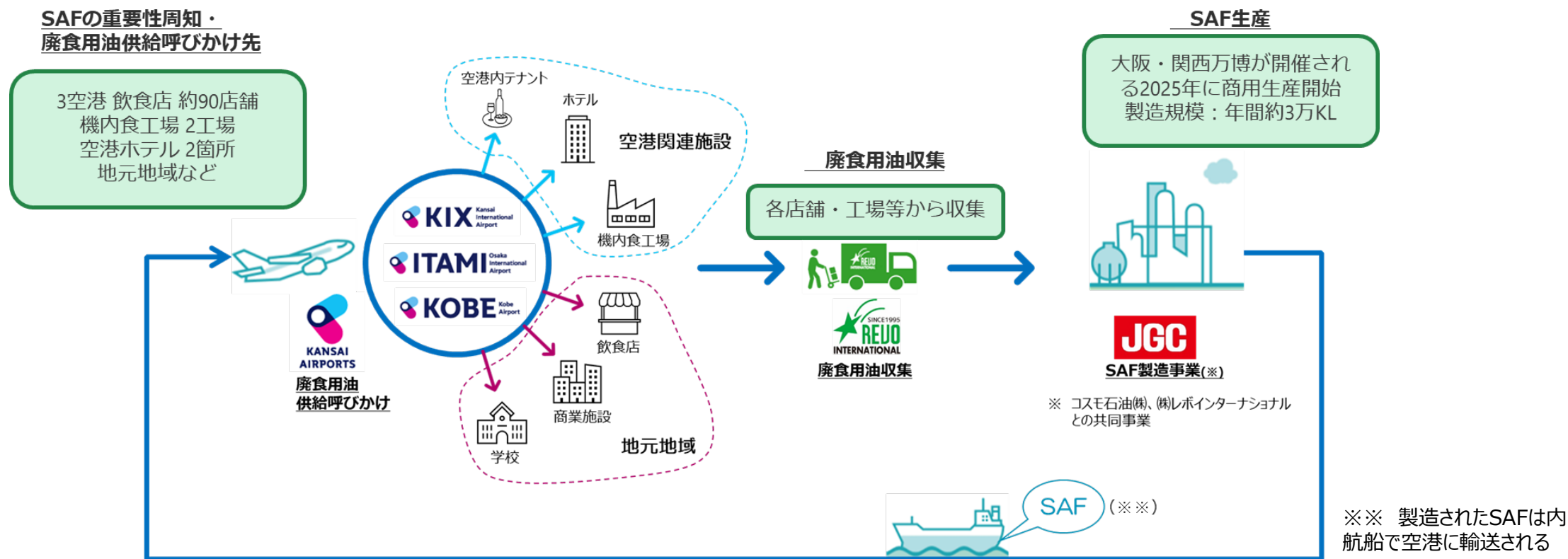


Boeing社（米）加盟会見 （2022年8月）

左からBoeing社 Chief Sustainability
Officer Chris Raymond氏
と当社秋鹿（ACT FOR SKY代表）

日揮HD・関西エアポート・レボインターナショナルの取り組み

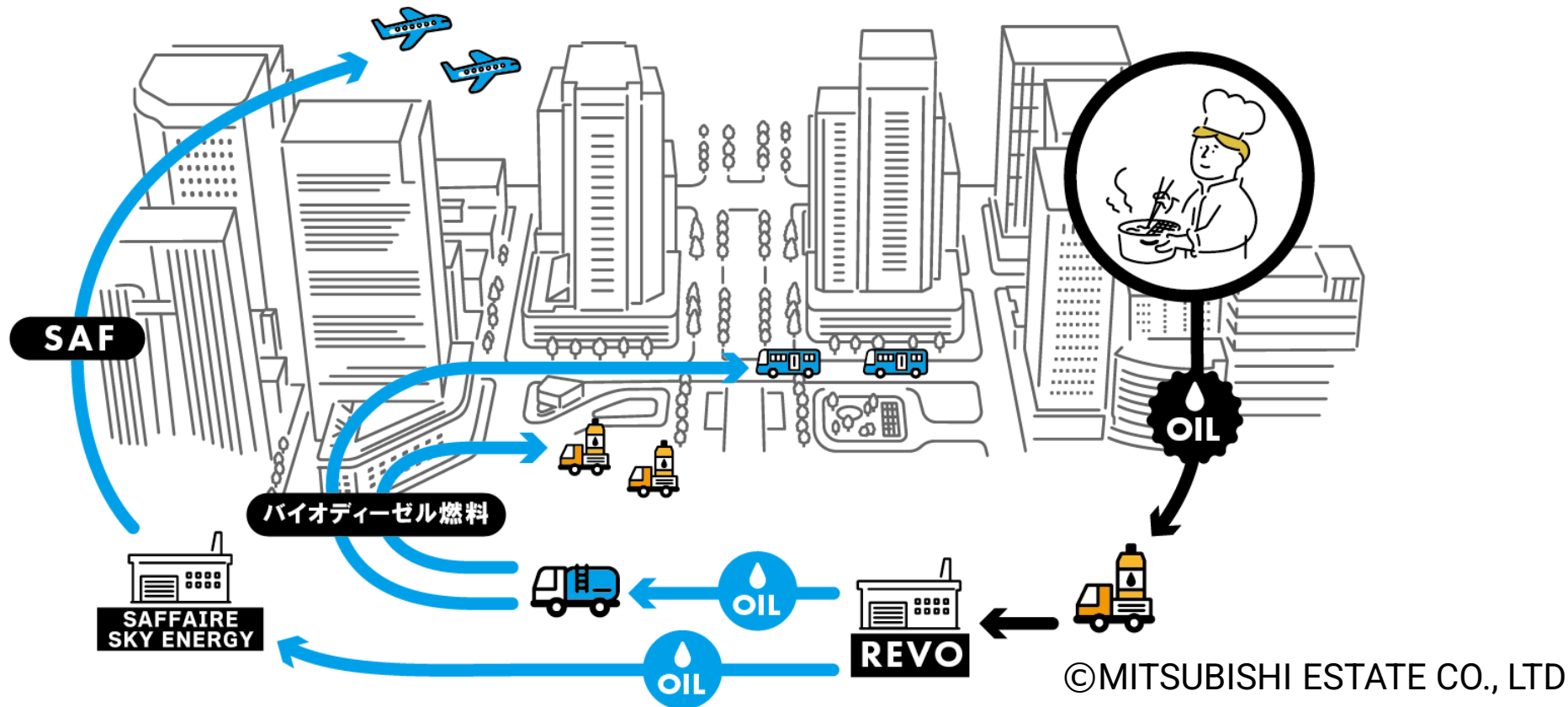
関西地方の「空の玄関口」3空港および関連施設から排出される廃食用油の引き取り先をSAF向けに切り替えていく取り組みについて本年6月29日に对外発表



空港内のテナントや、空港近隣のホテル、機内食工場などと引取りに向けて具体的に協議中

日揮HD・三菱地所・レボインターナショナルの取り組み

丸の内エリアからの廃食用油をSAFの生産に活用していくため、基本合意書を締結
今後、他のエリアやロイヤルパークホテル等への拡大を予定



同様の取り組みを大手外食チェーン、鉄道事業者、食品事業者などと計画中

誰もが参加可能な活動へ

JGC JGC HOLDINGS CORPORATION

FRY to FLY Project

使い終わったてんぷら油で
空が飛べる社会を実現させよう！
全員参加型、空の脱炭素プロジェクト



©Tatsuya Tanaka